

発行  
2022年6月  
No.33

# 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人  
支部長 木佐 健悟

北海道ブロック支部事務局  
(市立美唄病院内)  
TEL:0126-63-4171  
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

北海道ブロック支部広報委員会

## 編集前記

こんにちは。広報委員会のMです。

北海道にも暖かい季節がやってまいりましたね！道内は、新型コロナウイルス感染も比較的落ち着いた日々が続いて、外出しやすい時期にもなってきました。

私自身も最近、子どもが少年野球を始めたこともあり、毎週末グラウンドに顔を出しています。ここ2年間、ほとんど外出することがなく、特に職場のスタッフ以外、新たに知り合いになる人はできていなかったのですが、久しぶりに新しい知り合いができ、初めて「パパ友」ができました！改めて、早く新型コロナウイルスがおさまって、日常生活に戻ったらいいなあと思いました。

さて今回のニュースレターですが、ご覧のとおり、思い切ってレイアウトを変更してみました！どんなレイアウトだと見やすい内容になるのか、興味のある内容になるのか…悩みながらの作成でしたが、もうちょっとこうやったらいいんじゃないか？などありましたら、ぜひご意見をお待ちしております^^

内容としては、前々回から始まっていた「支部会員のリレーコラム」ですが、今回はブロック支部幹事・監事のメンバーも新しく任期をむかえることになりましたので、支部長からのご挨拶にさせていただきます。次回からまた再開しますので、ぜひお楽しみにしてください！

その他、第9回北海道地方会の情報、その他情報などありますのでご覧ください！



札幌市中央区 円山公園

## 2022年度のブロック支部長・幹事が決定しました！

2022年5月、日本プライマリ・ケア連合学会の規定に伴い、北海道ブロック支部幹事・監事選挙が行われ、2022年度～2023年度の幹事・監事が決定いたしました。

ブロック支部長は引き続き 木佐健悟先生 (JA北海道厚生連俱知安厚生病院) が再任されました。

新監事・幹事は以下のとおりです。

〈監事：2名 (敬称略)〉

渡部和也 (寿都町立寿都診療所 新)、夏目寿彦 (むかわ町国民健康保険 穂別診療所 新)、森崎龍郎 (幌加内町立幌加内診療所 再)

〈幹事：15名 (敬称略)〉

今江章宏 (寿都町立寿都診療所 再)、大久保彩織 (勤医協札幌病院 新)、加藤利佳 (手稲家庭医療クリニック 再)、小嶋一 (手稲家庭医療クリニック 再)、佐々尾航 (北海道立羽幌病院 再)、笹岡佑樹 (札幌深仁会リハビリテーション病院 新)、佐藤弘太郎 (本輪西ファミリークリニック 再)、鈴木聡 (市立旭川病院 再)、臺野巧 (勤医協中央病院 再)、田村英俊 (寿都そよかぜ薬局 再)、中嶋徹 (向陽台ファミリークリニック 新)、濱本航 (JA北海道厚生連俱知安厚生病院 新)、松田諭 (ファミリークリニックさっぽろ山鼻 再)、山口章江 (十勝勤医協帯広病院 新)

### トピック① ブロック支部長挨拶

2022年5月、日本プライマリ・ケア連合学会の規定に伴い、北海道ブロック支部幹事・監事選挙が行われました。ブロック支部長は引き続き 木佐健悟先生 (JA北海道厚生連俱知安厚生病院) が再任されました。

### トピック② 第9回北海道地方会が開催 されました！

2022年度 (第9回) 北海道地方会が、6月25日 (土) にオンラインで開催されました。実行委員長 加藤利佳先生 (手稲家庭医療クリニック)。テーマは「緩和ケア × プライマリ・ケア in 北海道」

### トピック③ その他の情報

2022年度 (第10回) 北海道プライマリ・ケアフォーラム (兼) 第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会 (兼) 北海道ブロック支部第7回学術集会在、11月19日 (土) に現地開催 (「かでの2・7」) することが決定しました。その他、道庁補助事業、支部予算の活用法などアイデアも募集しております。



倶知安厚生病院と羊蹄山

## トピック①

# ブロック支部長挨拶

支部長：木佐 健悟（JA 北海道厚生連倶知安厚生病院）



倶知安で働き始めて 11 年目になりました。2 年後に外来・病棟が入る建物が増築され、写真に見えている古い建物は取り壊されます。新しい建物からはシンボルの羊蹄山がどのように見えるか楽しみです。

企画された方ならわかると思いますが、業者に頼むとかなり高額（1 つの企画でも数十万円の単位）で急な内容の変更へも対応してもらいづらい、というところがあります。一方で、自分たちでやろうとすると、会場となる部屋の大きさや参加人数、設備によっても左右され、事前リハーサルが必須です。音声や画面を現地、オンライン双方の参加者が満足するレベルで提供するのは手間もかかり大変ですが、工夫しながらハイブリッド開催も少しずつやっています。

この度、日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部の支部長に再任されました木佐健悟と申します。2022 年 3 月から 4 月にかけて行われた日本プライマリ・ケア連合学会理事選挙の北海道ブロックから無投票という形でしたが理事に選任され、「北海道ブロック選出理事を北海道ブロック支部長とする」という規約に基づき、支部長となりました。前期に引き続きこれから約 2 年間、よろしくお願い申し上げます。

6 月 4 日(土)に新年度第 1 回目のブロック支部幹事会を開催しました。新任、再任合わせて 15 名の幹事と 2 名の監事（一部、欠席のため委任状）にご参加いただきました。また、幹事から 5 名以内の副支部長を指名することになっており、昨年同様、小嶋一幹事、佐々尾航幹事、佐藤弘太郎幹事、臺野巧幹事の 4 名に副支部長をお願いしました。現在、月 1 回程度幹事会と呼んでいる支部長・副支部長の会議を行っています。ブロック支部の活動は企画毎に担当副支部長をおいて、相談しながら進めています。事務局として引き続き市立美唄病院の皆様にお世話になります。

コロナで活動が制約を受けて約 2 年半となります。皆様の診療や日常生活も大きく影響を受けていることと思います。学会活動もウィズコロナということで、オンラインのイベントが増え、対面が望ましい企画は軒並み中止になりました。コロナの流行が落ち着いても、今までと同じ形にはならないでしょう。

コロナの 2 年間で、失われたものもありましたが、一方でそれまでなかなか実行に移されなかったオンラインのツールを生かした取り組みがどんどん出てきました。それらを取り入れて、新しい 2 年にしていきたいものです。

今期は現地開催とオンライン開催を使い分けながら支部の企画をやっていくことになると予想します。アンケートでハイブリッド開催（現地開催とオンラインの併用）の希望をいただくことも多いですが、実際に

## 「学会活動へのご参加、お待ちしております！ 企画する側へもどうぞ!!」

- 木佐 健悟

コロナ禍でも基本的なブロック支部の役割は変わっていないと思っています。プライマリ・ケアに関わる方は小さめの医療機関や事業所で仕事をしていることが多いですし、地域の事情にも左右されますので、悩むことも多いと思います。別の場所で働く志を同じくする人と時々情報交換をしたり、勉強したり、発表したりすることで、日々の診療や業務を振り返り、明日への活力を手にすることができる学会の役割は大きいと思っています。

そんな学会のメリットを生かすためには、新しい方に入っていただくことと、参加者同士が交流を深めることだと思います。いきなり全国の学会大会に出るのはハードルが高いかもしれません。地方会なら気軽に（今なら無料で）参加できます。プライマリ・ケアに関心があって、もやもやしている方が周囲にいたらぜひ支部の企画に参加するよう声がけをしたいと思います。また、すでに会員の方は、企画する側にも回っていただきたいと思います。

学会の看板を使いつつ、北海道という心理的な親近感を持ちやすいエリアで、目的に合わせたメンバーで集い、ともに学んでいく。ある程度目的を終えたら発展的解散ということもあるでしょう。こういう企画をやりたいと、学会事務局あるいはブロック支部幹事などを通して声がけいただければ、幹部会で実現に向けて検討します。コロナ禍あるいはコロナ後の新しい交流の形を考えていきませんか？

## トピック②

### 第9回 北海道地方会が開催されました！

実行委員長：加藤 利佳（医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック）

2022年6月25日（土）に第9回北海道ブロック支部北海道地方会がオンラインにて無事盛況に終わりました。今回の地方会のテーマは『緩和ケア×プライマリ・ケア』を掲げ、昨年度の地方会を上回る5つの企画をご用意しました。

総合診療をベースにお持ちであり、またAdvance care planningの大家である筑波大学医学医療系 緩和医療学の本澤義之先生よりご講演を賜りました。我々プライマリ・ケア医に期待される多くのTipsを頂きました。松田諭先生の「最期まで家で診るための“緩和ケア薬の使い方”」では、参加者からのタイムリーな反応があり、一体感を持ったレクチャーとなりました。シンポジウムでは各方面の諸先生方より新型コロナウイルスと緩和ケアというテーマでお話頂きました。唯一のワークショップではパーキンソン病の事例をもとに神経難病の緩和ケアをテーマにディスカッションができました。今回オンライン初となるカフェ企画も行いましたが、オンラインならではの交流ができました。

思い起こせば2021年3月には木佐支部長より直接実行委員長のご依頼を頂きました。今年度よりさまざまな視点から地方会の内容を盛り上げていこうという趣旨のもと、幹事の中から実行委員長を決めるというお話になり、白羽の矢が立ったのが小生でした。2021年10月より本番まで合計5回の会議を経て無事本番を迎えました。

私の所属する手稲家庭医療クリニックは、クリニックとしては珍しく緩和ケア病棟をもつ診療所であり、がん終末期患者の外来、訪問、入院とシームレスに診療することが特徴の一つです。日々がん・非がんの終末期患者を診る中で、緩和ケア医とプライマリ・ケア医の技術の重なる部分を多く感じました。ただ、プライマリ・ケア医の担える緩和ケア領域は幅広いと思う一方で、日本では、まだまだ浸透しているとは言い難い現状であるとも感じました。そこで全道からプライマリ・ケア医が多く参加する北海道地方会にて上記テーマを掲げることには大きな意義があるのではないかと思います。今回『緩和ケア』をテーマに据えました。

実行委員の皆様のごアイデアとまたそこに参加して下さったプライマリ・ケアに関わる皆様のご賛同があったからこそ、また事務局の方々の多大なるご協力の下、成功裡に終わりました。本当に心より感謝申し上げます。

今後とも北海道、ひいては日本のプライマリ・ケアの発展、そして地域に住む住民の皆様のお役に立てればと思います。

皆様、ありがとうございました。



多職種でプライマリ・ケアを学ぶ  
JPCA第9回北海道地方会

# 緩和ケア × プライマリ・ケア

2022 06/25 (土)

ZOOM

13:40~13:50  
開会あいさつ

13:50~15:00  
学術発表  
一般演題(口演)

15:10~16:40  
ワークショップ<sup>他</sup>

<p><b>座学</b> 最期まで家で診るための “緩和ケア薬の使い方”</p> <p><b>ワークショップ</b> パーキンソン病の事例で学ぶ 神経難病の緩和ケア</p>	<p><b>シンポジウム</b> Road to 2025~地域包括ケアシステムと 緩和ケアと新型コロナウイルス感染症~</p> <p><b>カフェ企画</b> シーズ・ラボ~これからのプライ マリ・ケアの種を咲かせよう~</p>
--	---

16:55~18:05  
基調講演  
エンド・オブ・ライフケアを地域でどう支えるか  
—緩和ケアの視点から—  
木澤 義之 先生 筑波大学附属病院緩和支援診療科 病院教授

「家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定更新のための単位」、「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」、「専攻医のoff-the-jobトレーニング単位」が取得できます(申請中)

詳細やお申込み方法については  
ホームページをご覧ください  
<http://jpca-hokkaido.jp/>

日本プライマリ・ケア連合学会  
北海道ブロック支部事務局(市立美唄院内)  
TEL:0126-63-4171 FAX:0126-63-4300  
E-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

## 開催概要

### 【日時】

令和4年6月25日（土）13:40~18:10

### 【開催方法】

ZOOMによるオンライン開催

### 【対象】

北海道のプライマリ・ケアに関心のある方など  
なたでも参加可能

### 【参加費】

無料(会員・非会員問わず)

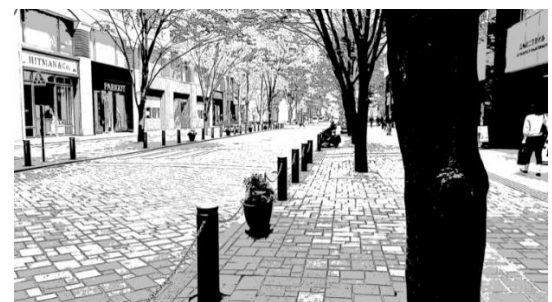
### 【テーマ】

「緩和ケア × プライマリ・ケア in 北海道」

今回は座学、シンポジウム、ワークショップ、カフェ企画と、オンライン開催ではありますが、参加者それぞれが参加しやすい形をとらせていただきました。

そして、基調講演でも筑波大学附属病院緩和支援診療科 病院教授である木澤義之先生より、本当に素晴らしいご講演をいただくことができました。

次回のニュースレターにて開催内容について情報をお伝えしようと思っておりますので、おたのしみに！



- ・北海道プライマリ・ケアフォーラム
- ・北海道ブロック支部学術集会
- ・北海道医学大会プライマリ・ケア分科会 の日程が決定しました！



2022年度(第10回)北海道プライマリ・ケアフォーラムが、11月19日(土)、現地で開催(「かでる2・7」)することが決定しました。実行委員長は2021年度に引き続き、湯浅駿先生(くろまつなブナの森診療所)です。

また、今年も日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第7回学術集会(兼)第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会も同日開催されます。大会長は木佐健悟支部長です。こちらでは現在一般演題(口演)募集をしています。

- 日時:2022年11月19日(土)16時10分~17時10分(学術集会の時間)[北海道プライマリ・ケアフォーラム全体の開催時間:12:30~19:10]
- 応募締切:2022年7月5日(火)13時(6月1日から演題登録開始)
- 応募方法:北海道医学大会ホームページ(URL: <http://www.hokkaido.med.or.jp/igaku/>)のオンライン演題登録バナーからお入りください。(スクロールでプライマリ・ケアへ)

一般演題の発表内容に関しては、学術報告(研究形式のもの)のみならず、症例報告・活動報告も受け付けます。症例報告・活動報告では、診断や治療に苦慮した事例・教育的な事例に限らず、各職種での事例の報告や地域包括ケアの事例報告、教育やプライマリ・ケア、地域包括ケアなどの実践報告も歓迎します。多くの応募をお待ちしております。

## 道内の新型コロナウイルス感染状況について

2022年6月時点では、道内の新型コロナウイルス感染症患者数が第6波からみても30%ほどと落ち着いてきています。そのため、入院患者数も減少し、安定した医療体制を提供できている状況になってきました。

また、高齢者では4回目のワクチン接種が始まっているところですが、一方で家庭内での流行がみられています。

長引く新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種についてはブロック支部会員の皆様も診療に管理業務に日々ご苦労されていることとお察しいたします。くれぐれもみなさまご自身の健康にご留意下さい。

新型コロナウイルス感染症に関しては学会本部でも様々な取り組みを行い発信しています。日本プライマリ・ケア連合学会ホームページ「新型コロナウイルス感染症 診療所・病院におけるプライマリ・ケアのための情報サイト」(<https://www.pc-covid19.jp>)をご参照いただければと思います。



## その他のお知らせ

ぜひご活用ください！

### ① 道庁補助事業について

現在新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いあまり利用がありませんでしたが、現在も地域医療体験実習のための費用助成を継続中です！ぜひ医学生の方はご利用いただければと思います。

<http://jpca-hokkaido.jp/hiyoujosei>

### ② ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだFacebookのご登録をされていない方々もぜひ登録を！

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

### ③ 支部の予算について

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度事業をあまり行うことができなかったこともあったため、内部留保があります。このため今年度の北海道地方会は無料としております。

北海道ブロック支部としては今後、支部活動をアピールしていくための施策を検討しております。一つの案として、ブロック支部設立10周年記念事業もできないかとも考えていますので、アイデアをお持ちの方はブロック支部事務局までご意見お寄せください！

北海道ブロック支部事務局 Email  
[hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)